

研究課題名：真菌症における分子疫学的解析

① 試料・情報の利用目的及び利用方法

真菌感染症は、細菌感染症に比べて発生頻度は低いですが、診断・治療に難渋するケースが多く、原因真菌の検出が適切な診断・治療に大きく寄与しています。国立感染症研究所真菌部では、診断困難な真菌症疑いの検体を全国から受け入れ、真菌検査（真菌の検出・同定・感受性試験のなど）を実施し、多くの医療機関等の確定診断のサポートを行っています。この真菌検査に提供された真菌症疑いのホルマリン固定組織パラフィン包埋組織（FFPE）検体の解析から得られた結果と患者情報等を使用し、病原性真菌の分類・同定、遺伝子型の解析、病原性等の解析、分子疫学的解析および真菌症と基礎疾患との関連に関する解析を行います。これらの関連性を明らかにし、新たな真菌症診断法の開発等や診断・治療に有益な情報を提供することを目的としています。

国立感染症研究所真菌部に保管されているすべての資料は、医療機関から送付された際に匿名化されており、個人の特定は出来ません。研究の成果が学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることは一切ありません。

なお、研究の対象者及び対象期間は、真菌症が疑われ 2015 年 1 月 1 日から 2021 年 1 月 31 日の間に受診医療機関を通じて国立感染症研究所真菌部に真菌検査の依頼がなされた方。

② 利用する試料・情報の項目

- I. 検査依頼医療機関等から真菌症検査のために提供された真菌症が疑われた FFPE 検体からの病理学的標本および病理学的解析の結果
- II. 検査依頼医療機関等から真菌症検査のために提供された真菌症が疑われた FFPE 検体からの真菌遺伝子検査の結果
- III. 検体の情報（年齢、性別、検体の種類、基礎疾患情報）

③ 利用する者の範囲

国立感染症研究所 真菌部：星野泰隆、宮崎義継、梅山隆、阿部雅広、壇辻百合香

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

国立感染症研究所 真菌部 部長 宮崎義継

お問い合わせ先：

〒162-8640 東京都新宿区戸山 1-23-1

国立感染症研究所 真菌部 星野 泰隆

電話：03-5285-1111（代）